



▼ 1億円のレプリカに興味津々の甲佐中の生徒たち



また、重さ約10キ口になる1億円の札束（レプリカ）が用意され、生徒たちが実際にその重みを体験しました。

藤本琉蒼くん（甲佐中2年・芝原区）は「授業を通して、僕たちの生活を支えている税金のありがたみが分かりました。1億円は想像より重かったです」と話しました。

甲佐中生徒が税について考える

令和4年度租税教室

7月11日（月）甲佐中学校で租税教室が行われ、同中（永瀬善久校長）1・2年生約150人が税について学習しました。

上益城地区租税教育推進協議会（蔵田勇治会長）が、次代を担う生徒に税の意義や役割を正しく理解してもらうために、租税教室を3年ぶりに開催。

町税務課の木村智香住民税係長と美濃田知也徴収係長が講師を務め、税金の必要性やその使われ方を分かりやすく解説。生徒たちは、DVDやクイズを通して税の役割について理解を深めました。

甲佐中生徒に学びの機会を

甲佐町未来塾が7月20日（水）開塾

7月20日（水）甲佐中学校で「甲佐町未来塾」の開塾式が開催されました。

同塾は、町教育委員会が甲佐中（永瀬善久校長）の生徒の学力および地域の教育力の向上を図ることを目的に開催。同中で受講を希望した1～3年生約60人が参加しました。

講師として同中の卒業生や元教員などが夏休み期間を利用し、全17回の日程で英語と数学の授業を実施。生徒たちは、1学期の学習項目の確認や課題の克服のため学習に取り組みました。



▲開塾式で蔵田教育長の話真剣に聞く甲佐中生徒たち



▲甲佐高校生から駄菓子を購入する子どもたち

「だがし屋さん」で地域交流

甲佐町公営塾「あゆみ学舎」

7月23日（土）池田製菓舗で甲佐高校の生徒たちが駄菓子の販売を通して地域交流を行いました。

同イベントは、甲佐高校（堀川丞美校長）の魅力づくりの一環として町が設置した甲佐町公営塾「あゆみ学舎」が、同校生徒と地域とのつながりを深める取り組みとして企画し、池田製菓舗が協力。現在の商店街では姿を消した、「だがし屋さん」を開きました。

参加した瀆砂桜太さん（甲佐高3年・熊本市）は「売る側に回るのが初めてで難しい場面もありましたが、とても良い経験になりました」と話しました。

明るい社会を目指して

第72回社会を明るくする運動

7月15日（金）「第72回社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が行われました。

同運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築くことを目的として、全国で展開。7月の運動強調月間に伴い、甲佐町保護司会（佐藤啓二会長）が町内を巡回し、啓発活動を行いました。

本町を訪れた同会の一行は、町役場を訪問し、奥名克美町長に内閣総理大臣および県知事のメッセージを伝達しました。



▲奥名町長にメッセージを伝達する甲佐町保護司会の一行

▲故山崎警部補慰霊碑に参列する参加者



地域の安心を守る誓いの日

故山崎警部補慰霊祭

7月28日（木）仁田子の緑川河川敷に鎮座する故山崎貴仁警部補の遺徳をしのび、慰霊祭が開催されました。

慰霊祭は、昭和46年7月31日に大雨で増水した緑川の中州で助けを求める中学生の救助活動で殉職した山崎警部補の意思を受け継ぐために御船警察署が毎年、警部補の命日に実施。同署の堀田博士署長や署員ら9人が参列し、山崎警部補の冥福を祈りました。

署員らは慰霊碑周辺の除草作業で汗を流したあと、全員で黙とう。その後、署員は堀田署長の訓示を受け決意を新たにしました。

高校生が全国大会で活躍

植田さん（船津区・書道）と作本選手（吉田区・ボクシング）



▲全国高等学校総合文化祭書道部門で文化庁長官賞・奨励賞に輝いた植田さん（左）と全国高等学校ボクシング選手権大会に出場した作本選手

町内の高校生2人が、全国大会で活躍しました。

7月31日（日）～8月4日（木）東京都で開催された第46回全国高等学校総合文化祭東京大会の書道部門で植田真唯子さん（御船高校3年・船津区）が文化庁長官賞・奨励賞に輝きました。

植田さんは「全国2位に値する文化庁長官賞という素晴らしい賞をいただき、とても嬉しく思っています。次の目標は、高校最後の大会の個人、団体の両方で優勝することです。仲間と切磋琢磨しながら最後まで全力で書道に励みます」と話しました。

7月27日（水）～8月2日（火）高知県で開催された第76回全国高等学校ボクシング選手権大会に作本龍治選手（熊本農業高校3年・吉田区）が出場しました。

作本選手は「九州総体の大会で怪我をし、万全の状態年全国大会に臨むことができなく悔しいですが、とても良い経験ができました。今後はプロボクサーのライセンス取得を目指します」と話しました。